



監視役ですから
先輩の射精は
わたしが管理します。

先輩！いきなりスカートをめくって、なにしてるんですか！
やめてください！！

姫柊、動かないでくれ。問題があるんだ。

先輩の行動が問題です！
すぐにスカートを戻してください！

待ってくれ、動かないでこれを見てくれ。

えっ

ピラッ

えっ、ちよつと！それ、なにを出してるんですか！
すぐにしまってください！

大丈夫だ。誰も見ていない。

吸血衝動のせいなのか、勃起が治まらないんだ。

ペニスがはちきれそうに苦しい。

それに、こんな状態じゃ、ズボンの中に戻せない。

姫柊のいい匂いで興奮したんだ。助けてくれ。

助けてって、どうすれば……

射精すればおさまるはずだ。姫柊の尻を貸してくれ。

貸す？貸すんですか？

ひっ

デロン

あんっ、お尻を突かないでください。

姫柇の尻はプニプニして気持ちいいな。
癖になりそうだな。

なに言ってるんですか！
ここは電車の中ですよ。すぐにやめてください！

あん



手の感触もいいぞ、姫柊。

手に擦り付けなくてください！

頼む、手で、しごいてくれ。

む、無理です！そんなことできません！

姫柊は俺の監視役だる。

このままペニスを出しっぱなしにしてるわけにもいかない。

えっ、。。。本当にするんですか？

あっ

ああ、頼む。

うっっ、。。。今回だけですよ。

ムニョムニョ



こうですか、こんな感じでいいんですか？

ああ、いい感じだ。気持ちいいぞ。

気持ちいいんですか？そうですか……

(ああっ、わたし、

先輩のお○んちんを触ってる……)

姫柊は何をやっても上手だな。

あっ

んっ

グッ
グッ
グッ
グッ



もうすぐイキそうだ。その感じで手を動かして。

はい、こうですね。

出すよー！

えっ、なにを出すんですか？ダメですよ！

うっ、出る！

あっ、あんっ、これって、精液!?

あん♡

姫柊、気持ちよかったよ。

手がベトベトです。

こんなところで射精するなんて、先輩って、やっぱり変態です！



姫柇、突然すまない。
とりあえず、「いいえ」じゃがんでくれ。

ん？

こんなところに呼び出してどうしたんですか？
何か落としたんですか？一緒に探しますよ。



また、勃起が治まらないんだ。
助けてくれ。

えっ！なにしてるんですか！？
また股間から変なものを取り出して！
わたし、帰ります。

あ！

頼む。
姫柁にしか、こんなことは頼めないんだ。

わたしだけですか？……そうですか。

どうすればいいんですか？

口で啜えてくれ。

それって……フェ○チオですか？

なんだ、したことあるのか？

ありません!!獅子王機関でそういう行為があると習っただけです!

毛

そうなのか、そんなことまで習うのか。

それより、早く頼む。ペニスの勃起が苦しいんだ。

……仕方なくするんですよ。これが最初で最後ですからね。

(ああっ、これが先輩のお○んちん……)

あうっ、いきなり押し込まないで！
んっ、あっ！

ああ、姫柊の口の中って気持ちいいな。

んんっ、先輩のっ、大きい……んあっ！

喉の奥まで吸い込んだり、舌で亀頭をなめまわしたりして。

ふあい、うんっ

んっ

あっ



ふあっ、先輩、射精できそうですか？

ああ、姫柊の口まの〇〇、気持ちいいぞ。もっと激しく、顔を動かして！

ふあい、んふっ。

んっ

んっく

出そうだ、口に出すから、飲んでくれ！
えっ、ん?!うんっ!!



ん！んくっ！！

先輩、精液を飲ませるなんて、ひどいです！

美味しかったか？

美味しくありません！！

ナデナデ

んっ

えっ、はい、わかりました。

気持ちよかったですか？そうですか……

落ち着いたようで良かったです。

先輩、ほかの誰かにこんなことさせたらダメですよ。殺しますよ。

気持ちよかったですぞ、姫柊。
姫柊のおかげで助かった。
ついでに尿道に残った精液を
吸い出してくれ。

こんな感じでいいですか？
ああ、いい感じだ。

妹の凧沙さんの部屋で、その同級生にこんなことさせるなんて、
先輩って、最低ですね。
早く射精しないと凧沙さんが帰ってきますよ。

姫柇が足で擦ってくれれば射精するよ。

(姫柇って、文句言っけど、ペニスを弄るのが好きみたいだ)



可愛いパンツだな。見覚えがあるような？

パンツだけですか？わたしは可愛くないんですか？

もちろん可愛いよ。だからこんなに勃起してるんだ。

うふふ♡

そうですか、可愛いですか。。。。
見て開けますからたくさん射精してくださいね、
先輩♡



興奮して濡れてるな、姫柊。

濡れてません！汗です！！

まあ、汗ってことでいいけど。

えっ

先輩、変なことを言うと、

わたしの足に挟まれているお○んちんがどうなっても知りませんよ。

冗談だよ、冗談。ははは。・。・

グニョ

頼みがあるんだ。パンツを脱いでくれないか？

それって……わたしの女性器を見たいってことですか？

え！

まあ、ストリートに言えばそついうことだけど、
すぐに射精できると思うんだ。

脱ぐんですか？本当に先輩はいやらしいですね。

まあ、時間がないですし、今回だけ、特別ですよ。

わたしの・・・、見えますか？

ああ、よく見えるぞ。

姫柊の可愛いおま〇こを見ながら射精するから、足を動かしてくれ。

あん♡

はい、射精してください！！

キュン

キュン

キュン



出るぞー！

ああっ、たくさん射精しましたね。

股間にこんなに・・・処女なのに妊娠したらどうするんですか？

いや、妊娠はしないと思っぞ。

でも、妊娠したら、もちろん責任はとるから。

あ♡

責任をとってくれるんですか!?

ん？嬉しそうだな？

そ、そんなことありません！

射精して落ち着いたのなら、お○んちんをしまってください。

ド
プ
ッ

グ
ヒ

先輩、こんなのが気持ちいいんですか？

ああ、気持ちいいぞ。

わたしの胸は大きくないので……

それがいいんだ。

姫柊が小さな胸で、健気に寄せて集めて頑張るのが興奮するんだ。

それって、褒めてるんですか？

すごく失礼なことを言われた気がするんですけど。

いや、褒めてるぞ。

ほら、ペニスがピクピクして喜んでるだろ。

本当ですか？



息が荒いぞ、姫柊も気持ちいいのかわ？

そんなことありません。胸でするのが大変なんです。

はっ

あっ

スギキョ

ムニム

だったら、もっと気持ちよくなつてくれ。
えっ！なんですか？

あんっ、イタズラしないでください！
気にしないで続けて。

気にしないでって言われても。
んあっ、乳首を引っ張らないでください！

あん
♥

ニ
ッ

キ
ッ



あああ、胸が熱い……。先輩がイタズラするから、わたしの体、おかしくなっちゃいました。体が火照って、熱いです……

ああ、姫柇も一緒に気持ち良くなってくれ。

ああっ

はあっ

んあっ、ああん！

姫柇、もう、出そうだな！舌を出してくれ！

えっ、舌をですか？

毛
ニ
ユ

キ
ユ
ム

イクぞ!!
顔で受け止めてくれ!
えっ、はい!

あっ

あんっ、顔に精液が.....
暖かい精液が顔いっぱい.....
先輩の精液.....



たくさん出ましたね。満足してもらえましたが？

ああ、姫柇のおかげで落ち着いたよ。

そうですか・・・あの、乳首から手を放してください。

あっ、「めん。

はあ

はあ

いえ、あの、先輩が望むなら、またしますので言ってください。

ん？姫柇はパイズリにハマったの？

ハマってません！変なことを言っと雪霞狼で切り刻みますよ。

タラシ



そのまま動かないでくれ。

はい、それはいいんですけど……
わたしが運動しているのを見てムラムラしたんですか？
更衣室まで入ってきて、なにをする気ですか？着替え中ですよ。
誰かが入ってきたらどうするんですか？

鍵をかけたから大丈夫だ。

ですが、すぐに人が来ますよ。

ああ、だから急いづ。

えっ

プルン

あの、なにをしてるんですか？
くすぐりたいですよ。

腋に擦りつけてる。

あっ

あん♡

スッ

スッ

それはわかるんですけど・・・
あの、手とか口でお手伝いしましょうか？
いや、汗をかいた姫柎の腋がいいんだ。

なるほど。納得しました。やはり先輩は掛け値なしに変態です。

あんっ、どうして乳首に押し付けるんですか？

オッパイが寂しそうにみえたんだ。

寂しくありません！はんっ、胸をつつかないでください！
んあっ、お〇んちんで乳首を擦らないで！

腋のもどかしい感じもいいけど、

乳首の感触もいいな。

姫柇、乳首が勃起してきたぞ。

勃起してません！

いやらしいことを言わないでください！



トクン

先輩、射精できそうですか？

ああ、腋のくぼみに
うまくハマっていい感じだ。

あん♡

ワチュ

ユル

はんつ、そんなに激しく動かすとくすぐったいです。
けど時間がないから、
ひやっ、我慢しますから、早く射精してください！

ああ、射精するぞ姫終！

はいっ、出してください！

ピ
ク



あああああ！
お〇んちんから精液が出てる！
わたしの身体に降りかかって・・・
ああっ、この匂い・・・

ピュルル

あっ♡

ものほしそうだな、姫柊。

精液を口に欲しかったのか？

そ、そんなことありません！
シャワーを浴びるので出て行ってくださーい！

先輩、どうしました？食べないんですか？

実は、ちよつと困ってる。

えっ

えっ！……もしかして、また……

ああ、衝動が抑えられないんだ。

ダメですよ、こんなところでは。

ここは食堂です。我慢してください。

いや、無理だ。我慢できそうにない。



ダメです！すぐにしまってください！
誰かに見られます！

助けてくれ。
勃起を鎮めるには射精するしかないんだ。
大丈夫だ。
ここは食堂の端で、
背中を向けていれば気付かれない。
姫柧の手で射精に導いてくれ。

ひゃっ

ほ、本当にするんですか？

ああ、急がないと誰かに気付かれる。

デロン



食堂でこんなことをさせるなんて、先輩は最低です。
あん、お〇んちんがどくどく脈打って熱い……
誰かに気付かれる前に早く射精してください。

あっ♡

はっ♡

ああ、いい感じだ。

姫柧の手コキは

前より上手くなってるぞ。

すぐに射精できそうだな。

そんなこと

褒めてる場合じゃありません！

キュル

キュム



あ？！

え？！

出るーどーに出せばいい？

えっ、突然言われても・・・
ティッシュ、いえ、わたしの手に。
ダメだ、間に合わない！

えっ、先輩、
なんてことをするんですか！
わたしの食事にかけるなんて！

すまん姫柇、悪気はないんだ。

先輩・・・



ピュルル
ド

古城クン、雪菜ちゃん、二人で食事？

えっ、ええ、そうなんです。

あっ、エビフライ、美味しそうだね。
一本もらっていい？

だ、ダメです！絶対にダメ！！

えっ、雪菜ちゃん？！

あっ、ごめんなさい……

エビフライは姫柊の大好物なんだ。

風沙、自分で注文して食べればいいだろ。

あっ、うん、ごめん、雪菜ちゃん。

いえ、わたしも言い過ぎました。

姫柇、お腹がすいたんだろ、
食べてもいいぞ。

えっ、はい、それでは……

雪菜ちゃん、美味しい？

はい、もちろん。

風沙もランチはエビフライにする！
雪菜ちゃん、注文してくるから待っててね。

先輩、後で話があります。
なんの話が分かりますね。

えっ、あっ、はい……

あつ、起きたんですか、おはようございます。

なにやってるんだ、姫柇？

朝の挨拶ですよ。お〇んちゃんに。

先輩は眠っていて結構です。

姫柇、・・・姫柇さん？

うふ♡





そう言えば、お伝えすることがありました。
今後は、
わたしが先輩のお〇んちんの管理をしますから、
勝手に射精しないでください。
これは、先輩の監視役としての務めです。
わかりましたか？
ああ、わかったけど・・・
では、また電車で痴漢されると困るので、
今射精してください。

んっ、んあっ、んんっ。
先輩、気持ちいいですか？

あ、ああ。

そうですか。いつでも射精していいですよ。

ああ、わかった。

んっ、んっく……

んんっ、んふっ……

こんなふうには、

尿道を舌先で刺激するのはどうですか？

それとも喉の奥まで飲み込むのは？

あ、ああ、気持ちいいぞ。



チ
ク
パ

チ
ユ
ル



もしかして、姫終、怒ってるのか？

どうしてですか？

なにか怒らせることをしたんですか？

いや、そんなことは……

(心当たりがあるような、ないような、

たくさんあるような……)

ふふっ、

先輩は気にしないでたくさん射精してください♡



口に出していいか？

んっ、ふあい、んあっ、ああっ……
で、出る！

んんっ!! うっくっ、ううんっ、んっ……

気持ちよかったぞ、姫終。

ふあい、……んっ、はあっ。

先輩、たくさん出ましたね。飲むのが大変でした。



ちよつと待つてくたさい。
すぐにお〇んちんを綺麗にしますので。
んっ、んあっ、ううんっ……
さあ、綺麗になりましたよ。起きてくたさい。
・・・あれ？お〇んちんが大きいままですね。
先輩、もう一度しますか？
・・・ああ、頼む。

先輩、なにをしてるんですか？

尻の穴を広げて見てる。

お尻の穴で遊ばないでください！

気のせいでしょうか、

先輩の要求が

次第にエスカレートしている気がするんですが。

気にするな、姫柊。

姫柊は尻の穴も可愛いな。

つい悪戯したくなる。

お尻の穴を褒められてもうれしくありません。

あん♡

ヒュー

キキ

あん、ああっ、なにをしてるんですか？
ああ、姫柊の尻にペニスを擦りつけてる。
尻肉に包まれて気持ちいいぞ！

あんっ、そんなこと……

姫柊も気持ちいいだろ。

ああ、よくわかりません！！

変な感じですよ！

姫柊の尻は大きくて、弾力があって、
柔らかくて最高に気持ちいいぞ。

んあっ、そんな説明は必要ありません！

あひ♡



せ、先輩、気持ちいいですか？

ああ、気持ちいいぞ。

そうですか、先輩がお尻を刺激するから、

私も不思議な感じです。

先輩のせいで、

私も変態になっちゃいました。

そんな姫柊なら大歓迎だ。

もっとう気持ちよくなってくれ。

あっ、はい♡

ん♡

あっ♡



先輩、わたし、このままじゃ……

どうした、姫柊。

肛門をペニスで擦られてイクのか？

はい、イキます♥

ああっ、先輩、もうダメ!!

ああああっ!!

射精するぞ!!

そのケツで受け止めてくれ!

はっ、はい♥

あっ♥

いく♥



出る!!

えっ、あんっ、お尻の穴に射精したんですか？

ああ、精液がお尻の中に入ってくる……

お尻の穴に流し込むなんて。

お尻で妊娠しちゃう……

姫柊の肛門は食いしん坊だな。

精液をどんどん飲み込むぞ。

ふふっ、

こんな身体にしたのは先輩ですよ♡

ああ♡



ああっ、どっちを向いてもお○んちんばかり・・・
先輩、これは!?

ああ、困っている。
どういうわけか、多人数に分裂してしまった。

ズツ
ズツ
ピト
ピト
ドキ
ドキ

あっ

これは非常事態です。
それで、わたしはナース服を着ているわけですね。
そっだ。

先輩、わたしに任せてください!

全員が射精すれば一人に戻れると思うんだ。

はい、わたしが先輩たちの射精を
お手伝いすればいいんですね。

いや、姫柗はじっとしていてくれ。

えっ？

ドキ
ドキ

えっ

射精するのを見ていてくれればいいんだ。

えっ、お手伝いしますよ。

いや、なにもしなくていい。

そうですか、

しなくていいんですか……

あんっ、わたしの顔に擦りつけて
お〇んちんを刺激するんですか？

そつだ。迷惑か？

いえ、大丈夫です。大丈夫ですけど……

擦り付けるだけですか？
それならわたしじゃなくてもいいんですけど……
ナース服に着替える必要ありません。
そもそも、どうしてお〇んちに触っていけないんでしょうか！？
ぶつぶつぶつ……

はあ

はあ

×

ん？なんか言ったか？

なにも言ってますせん！

姫柇、なにが見える？

はい、お〇んちんがたくさん見えます。

先輩の手がお〇んちんをしゃごいでいます。

お〇んちんの先からあふれてくるエッチな汁が

わたしの顔に広がって・・・

お〇んちんの匂いでむせ返りそうで・・・

わたしの目の前にお〇んちんがありますが、

先輩の自慰を邪魔できないので、

わたしは見てるだけです・・・

あああ

姫柇、舐めてもいいぞ。

えっ、いいんですか？

ああ、舐めたくないのか？

いえ、舐めます！

これが欲しかったんです！！

ヌル

ドキ
ドキ

手が空いてるな。
実はもう一人いるんだ。
はい、お手伝いします！

姫柇、~~喜~~嬉しそうだな。

はい、射精のお手伝いをしているうちに、
わたしの身体で射精してくれる
先輩のお〇んちんが愛おしく思えてきました。
たくさんのお〇んちんに囲まれて、
幸せです！！

はっ

はあ



射精するから舌を出してくれ。
いつせいに出不すぞ！

はい、精液ください！

あん♡

んはあ♡

×
ああ、精液のシャワー……
先輩の精液が顔に降り注いでる！！
精液がいっぱい……



あの、飲んでもいいですか？
ああ、いいぞ。

ああっ、先輩の精液、美味しい♡
これからもわたしに
射精のお手伝いをさせて貰えますか？

あは♡

ああ、俺の勃起衝動を抑えるには姫柊が頼りだ。

はい、先輩のお〇んちんの監視は
わたしに任せてください！

